


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会 御中
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成 23年 1月 31日

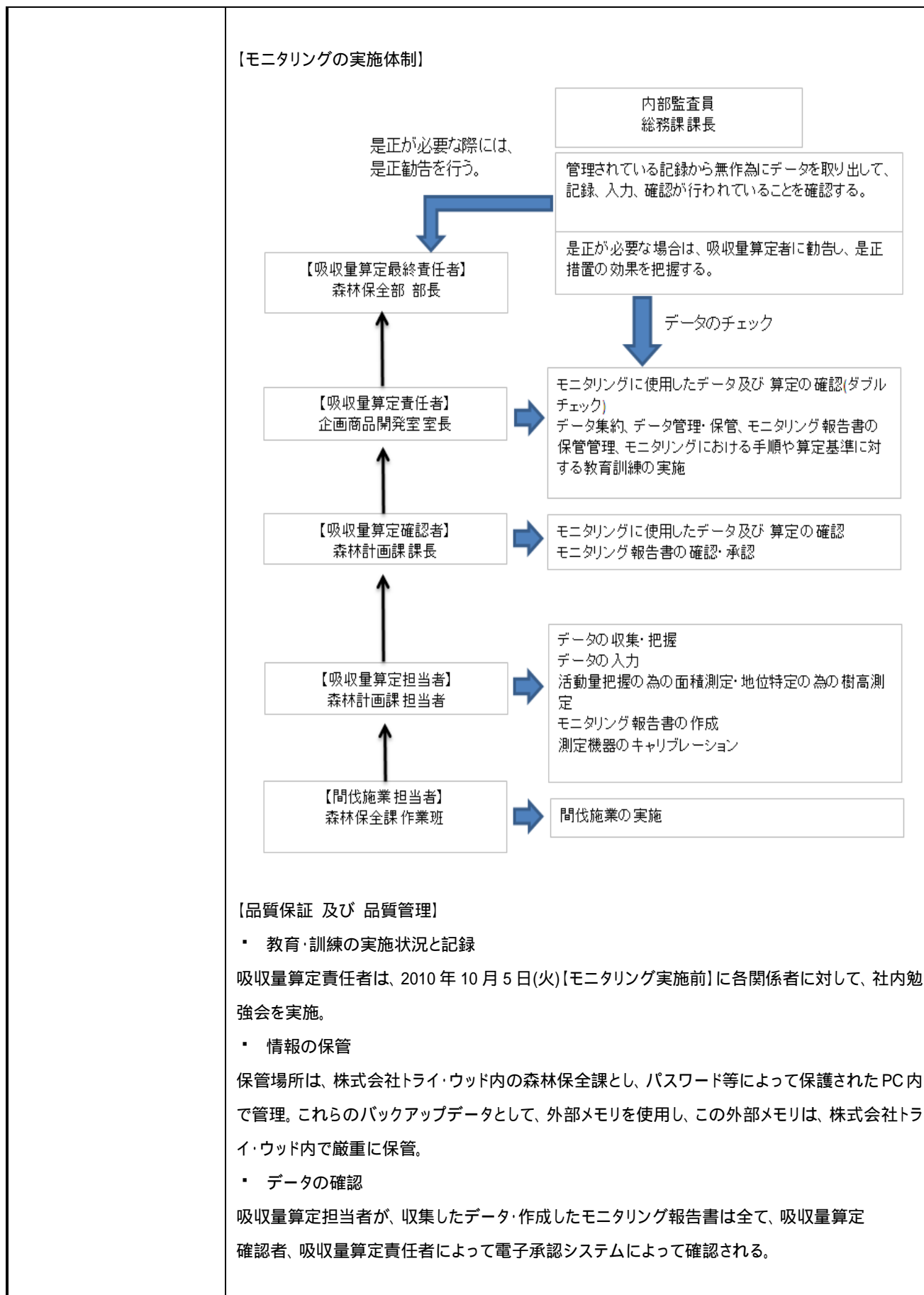
温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
日田市上津江町 間伐推進プロジェクト			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	株式会社 トライ・ウッド (カブシキカイシャ トライ・ウッド)		
住所	大分県日田市上津江町川原 2810-1		
代表者氏名	井上 伸史	代表者役職	
担当者氏名	渡邊 雄一郎	担当者 所属部署・役職	企画商品開発室 室長
担当者 E-mail	y_w@try-wood.com	担当者電話番号	0973-55-2888
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	株式会社 トライ・ウッド (カブシキカイシャ トライ・ウッド)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	株式会社トライ・ウッド(カブシキカイシャ トライ・ウッド)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 <input type="checkbox"/> その他()である。		

プロジェクト情報 ¹																												
プロジェクト登録番号 (4 ケタ)	0037																											
プロジェクト登録日	平成 22 年 9 月 17 日																											
プロジェクト概要	<p>【目的】 地域材が好きな人々に森林の新たな物語を伝え、還元します。 山の事を知らない人々には、森林の価値を分かりやすく伝えます。 また、本事業は大分県初のプロジェクトになるので、近隣地域の森林管理事業体に対してモデルとなるような位置づけを目指します。</p> <p>【内容】 間伐の推進によって、森林の CO2 吸収量を増大し、森林が環境に与える影響を可視化、数値化する事によって、木を使う消費者に分かりやすくアピールすると共に、地域材を愛する地域工務店と共に、得られたクレジットを地域材で家を建てる消費者に還元します。 山の事をよく知らない人々には、山林が持つ環境に与える影響を分かりやすく伝えます。 また、本事業は、大分県初のプロジェクトになるため、制度の紹介やノウハウなどを伝えていく事を目標とします。</p> <p>【モニタリング対象地】まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年度間伐 <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>モニタリング数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>14 箇所</td> <td>16.59 (ha)</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>1 箇所</td> <td>0.06 (ha)</td> </tr> </tbody> </table> <p>小計 16.65 (ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2008 年度間伐 <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>モニタリング数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>21 箇所</td> <td>20.81 (ha)</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>1 箇所</td> <td>8.64 (ha)</td> </tr> </tbody> </table> <p>小計 29.45 (ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年度間伐 <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>モニタリング数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>33 箇所</td> <td>24.61 (ha)</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>18 箇所</td> <td>11.03 (ha)</td> </tr> </tbody> </table> <p>小計 35.64 (ha)</p>	樹種	モニタリング数	面積	スギ	14 箇所	16.59 (ha)	ヒノキ	1 箇所	0.06 (ha)	樹種	モニタリング数	面積	スギ	21 箇所	20.81 (ha)	ヒノキ	1 箇所	8.64 (ha)	樹種	モニタリング数	面積	スギ	33 箇所	24.61 (ha)	ヒノキ	18 箇所	11.03 (ha)
樹種	モニタリング数	面積																										
スギ	14 箇所	16.59 (ha)																										
ヒノキ	1 箇所	0.06 (ha)																										
樹種	モニタリング数	面積																										
スギ	21 箇所	20.81 (ha)																										
ヒノキ	1 箇所	8.64 (ha)																										
樹種	モニタリング数	面積																										
スギ	33 箇所	24.61 (ha)																										
ヒノキ	18 箇所	11.03 (ha)																										

	<p>合計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>モニタリング数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ</td> <td>68 箇所</td> <td>62.01 (ha)</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>20 箇所</td> <td>19.73 (ha)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88 箇所</td> <td>81.74 (ha)</td> </tr> </tbody> </table> <p>プロジェクト対象地は、5 地点(字名ベース)であり、それぞれ、『シカキ石(シカキイシ)』、『高テキ(タカテキ)』、『長畑(ナガハタ)』、『前塚(マエツカ)』、『コヲヲ』である。</p> <p>計画時に予定していたモニタリングポイント 9 箇所は、活動量の測定を行う時間、人手が足りなかった為、本年度のクレジット化から除外する。(間伐は計画通り実施済み。次年度以降にクレジット化を行う。)</p> <p>また、モニタリングポイント 37 は、施業計画上の樹種は、スギであるが、実際の現地ではヒノキであった為、本年度のクレジット化から除外する。(施業計画修正後、次年度以降にクレジット化を行う。)</p> <p>【測定結果による地位級まとめ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地位</th> <th>モニタリング数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒノキ 1</td> <td>15 箇所</td> <td>9.32 (ha)</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ 2</td> <td>3 箇所</td> <td>1.71 (ha)</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ 4</td> <td>2 箇所</td> <td>8.70 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 1</td> <td>6 箇所</td> <td>5.61 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 2</td> <td>12 箇所</td> <td>4.19 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 3</td> <td>10 箇所</td> <td>15.31 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 4</td> <td>6 箇所</td> <td>3.33 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 5</td> <td>6 箇所</td> <td>4.58 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 暫定地位[1]</td> <td>20 箇所</td> <td>15.73 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 暫定地位[2]</td> <td>2 箇所</td> <td>4.54 (ha)</td> </tr> <tr> <td>スギ 暫定地位[3]</td> <td>6 箇所</td> <td>8.72 (ha)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88 箇所</td> <td>81.74 (ha)</td> </tr> </tbody> </table>	樹種	モニタリング数	面積	スギ	68 箇所	62.01 (ha)	ヒノキ	20 箇所	19.73 (ha)	合計	88 箇所	81.74 (ha)	地位	モニタリング数	面積	ヒノキ 1	15 箇所	9.32 (ha)	ヒノキ 2	3 箇所	1.71 (ha)	ヒノキ 4	2 箇所	8.70 (ha)	スギ 1	6 箇所	5.61 (ha)	スギ 2	12 箇所	4.19 (ha)	スギ 3	10 箇所	15.31 (ha)	スギ 4	6 箇所	3.33 (ha)	スギ 5	6 箇所	4.58 (ha)	スギ 暫定地位[1]	20 箇所	15.73 (ha)	スギ 暫定地位[2]	2 箇所	4.54 (ha)	スギ 暫定地位[3]	6 箇所	8.72 (ha)	合計	88 箇所	81.74 (ha)
樹種	モニタリング数	面積																																																		
スギ	68 箇所	62.01 (ha)																																																		
ヒノキ	20 箇所	19.73 (ha)																																																		
合計	88 箇所	81.74 (ha)																																																		
地位	モニタリング数	面積																																																		
ヒノキ 1	15 箇所	9.32 (ha)																																																		
ヒノキ 2	3 箇所	1.71 (ha)																																																		
ヒノキ 4	2 箇所	8.70 (ha)																																																		
スギ 1	6 箇所	5.61 (ha)																																																		
スギ 2	12 箇所	4.19 (ha)																																																		
スギ 3	10 箇所	15.31 (ha)																																																		
スギ 4	6 箇所	3.33 (ha)																																																		
スギ 5	6 箇所	4.58 (ha)																																																		
スギ 暫定地位[1]	20 箇所	15.73 (ha)																																																		
スギ 暫定地位[2]	2 箇所	4.54 (ha)																																																		
スギ 暫定地位[3]	6 箇所	8.72 (ha)																																																		
合計	88 箇所	81.74 (ha)																																																		
<p>モニタリング概要²</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p> <p>3 箇所のプロット地点において、最低地位を下回るため暫定地位級を設定。</p> <p>1 箇所のモニタリング地点(ヒノキ)では、林齢が 73 年生でありヒノキ人工林収穫予想表(大分県)昭和 58 年度では、60 年生までしか測定されていない為、グラフより暫定値を設定。</p>																																																			



		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 内部監査 株式会社トライ・ウッド内の総務課 総務課長を内部監査員に任命。 内部監査員は、吸収量算定責任者が保管・管理しているデータ、書類データから無作為にデータを取り出し、記録(必要な書類が保管されているかどうか)、入力されたデータ、確認(承認がされているかどうか)、算定結果、QA/QC の実施が正しく行われているかどうかの監査を実施。この監査は、2010 年 12 月 29 日(水)に実施された。 ▪ 測定機器の維持・管理(機器校正等) 吸収量算定担当者は、モニタリング前に、使用機器の点検を行い、問題等があった場合には、森林計画課 課長に報告しその後の指示を受ける。 森林計画課 課長は、問題の結果を記録に残し、適切に保管する。 今回のプロジェクトでは、不具合等は発見されなかった。 				
適用実施規則		オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 ver.2.5				
適用モニタリング方法 ガイドライン		オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) ver.2.1				
適用方法論		方法論番号	JRAM 001 Ver4.1			
		方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論			
モニタリング結果						
モニタリング期間		2007年4月1日 ~ 2010年3月31日				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009			合計
	t-CO2	218	610			828

¹ プロジェクト情報は、3 ページ以内で記述してください。

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入するほか、モニタリング体制と QA/QC 体制の有効性等に関することを記述してください。

ダブルカウントの防止の措置			
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	株式会社トライ・ウッド(カブシキカイシャ トライ・ウッド)		
ダブルカウントの防止措置内容	<p>発行されるクレジットについては J-VER 登録簿口座を開設します。</p> <p>他の事業者に移転及び無効化については制度事務局の J-VER 登録簿を通じて行います。</p> <p>また、移転単位 (t) 毎に通し番号を付与し、帳簿を作成し管理いたします。</p> <p>移転したクレジットについては証明書を発行します。</p> <p>証明書にクレジットの番号を記載し、帳簿上の同じ番号の欄と株式会社トライ・ウッドの社員で割印をいたします。</p> <p>その他、現在大分県には存在しないが、公的な公表制度等が始まった場合 や J-VER 制度以外の既存の公表制度等に対して吸収量を 2 重に主張しない。</p> <p>当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p>		
公的な報告・公表制度 (判明している公的制 度)	なし		
自主的な報告・公表対 象 (対象となるホームペ ージ、環境報告書等)	なし		
ダブルカウント防止措置責任者 (プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要)			
事業者名			印
住所			
代表者氏名		代表者役職	
担当者氏名		担当者 所属部署・役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
備考欄			

以 上